

## 70周年記念事業

町では、今年度1年間を通して、さまざまな記念事業を実施します。事業の詳細や新たな情報は、広報猪苗代町ホームページでお知らせします。

事業名	実施日	会場	概要
猪苗代町健康マラソン大会	6月22日(日)	町運動公園	合併70周年にちなみ、特別種目「70を拾え」を開催。住友生命保険相互会社 福島支社 郡山支部による「インボディ測定」体験ブースを設置。
学びいなまつり(夏)	7月20日(日)、 21日(月・祝)	学びいな	70周年記念として、猪苗代警察署と猪苗代消防署による交通安全教室、パトカー・白バイの展示、救命救急講座を開催します。
磐梯まつり	7月26日(土)、 27日(日)	亀ヶ城公園 ほか	ステージイベントでは、70周年を記念した特別講演やパネルディスカッション、渡辺俊美さんのスペシャルライブを開催します。
やさしく学べる サイエンスセミナー	7月30日(水)	学びいな	総合地球環境学研究所の山極壽一所长を招いて、「ゴリラから学んだ生きる力」というテーマで講演会を開催します。
いなわしろ花火大会	8月16日(土)	町運動公園	70周年記念に合わせ、町民の皆さんや帰省している皆さんの記憶に残る花火大会を企画しています。
図書歴史情報館企画展 ～過去をみつめて未来へつむぐ 写真展～	9月2日(火)～ 28日(日)	和みいな	近現代の町の歴史を振り返り、明治から平成までの街並みの写真や、昭和の16ミリフィルムの放映などを行う予定です。
防災対策展示事業	9月7日(日)	旧緑小学校	町総合防災訓練を行う会場で、防災に関する資機材の展示や消火体験などを実施する予定です。
未来へつむぐ スポーツフェスティバル	9月25日(木)	町運動公園	これまでの野口博士顕彰記念小学校体育祭と旧町村6地区対抗戦の「世代間交流体育祭」を併せて開催します。
学びいなまつり(秋)	10月18日(土)、 19日(日)	学びいな	町体験交流協会に加盟している文化団体の皆さんが、日ごろの練習の成果を発表します。
合併70周年記念式典 功労者(関係者)表彰	10月24日(金)	学びいな	活躍が顕著と認められた町民と本町に関係のある個人もしくは団体を表彰します。
友好都市締結式	10月24日(金)	学びいな	熊本県小国町出身の北里柴三郎博士と野口英世博士は新旧の千円札で、医学者の師弟関係にある縁から小国町と友好都市を締結します。
猪苗代町ウォールアート事業	11月1日(土) ～3日(月・祝)	中央商店街 ほか	「笑顔・つむぐ・未来」にちなんで、町内の小学生がアーティストと一緒に作成した作品を中心市街地に展示する予定です。
猪苗代新そばまつり	11月8日(土)、 9日(日)	カメリーナ	前売り券制で各日限定1,000食新そばを提供するほか、農産物や期間中対象店舗で利用できる「猪苗代プレミアム新そば券」も販売します。

and more・・・



私たちと一緒に記念事業を  
盛り上げましょう

## 猪苗代町は合併70周年を迎えます

猪苗代町は、令和7年7月20日に合併70周年を迎えます。豊かな自然に恵まれた本町は、農業と観光を中心に先人たちが歴史と文化をつむいできました。この功績に感謝し、町民の皆さんと共に歩んできた歴史を振り返ります。そして、未来に向けた新たな一歩を踏み出す重要な節目を皆さんと祝うとともに、地域の絆を深め、町の更なる発展を目指します。

### コンセプト

## 猪苗代町は「変わらない。」ために「あたらしくなる。」

猪苗代町は、変わらない。「磐梯山」「猪苗代湖」「達沢不動滝」「亀ヶ城址」「磐梯神社」「中ノ沢こけし」「野口英世記念館」・・・。猪苗代町には、他に誇れる自然と文化がたくさん存在します。自然・文化は、行政が作り伝承したものではありません。それらに関わった町民が作り上げ、町民自らが伝承してきたものです。町民が創造したものを、すべての町民が認めるその「こころ」は、笑顔も一緒に創造してきたはずです。それは、絶対に変えてはいけません。

猪苗代町は、あたらしくなる。いま、全国どこの市町村も大きな危機に直面しています。少子高齢化問題、雇用問題、コミュニティの再生、インフラの老朽化・・・。その課題は現状を維持するだけでは解決できません。行政だけでは解決できません。町に関わるすべての人たちと課題を共有し、町が、人が、変わらなければ解決できません。町が、人が、猪苗代町のみらいを創造すること。猪苗代町のみらいを創造し、笑顔になれること。それが、猪苗代町があたらしくなることです。

### 実施方針

- 方針① 町民への感謝**  
町民の皆さんへの感謝を、さまざまな記念事業を通してお伝えします。
- 方針② 未来への伝承**  
先人たちが作り上げたものに、今の時代のテイストを加え、次の世代にみんなでつなげましょう。

### キャッチフレーズ

## 「笑顔・つむぐ・未来」

町が守り続けてきた「歴史」「文化」「こころ」に、現代の人たちの「笑顔」をつむぎ、次世代に伝承する、という決意を込めました。

## 70周年記念ロゴマークをご活用ください

猪苗代町合併70周年の節目の年であることを広く皆さんに知っていただくため、「ロゴマーク」・「キャッチフレーズ」・「事業名の表示」を作成しました。ロゴマーク等を使用した事業、商品は、町の媒体(広報誌、ウェブサイト、SNS等)を活用して広報します。皆さんの事業や商品をお知らせする良い機会になると思いますので、ぜひご活用をお願いします。使用する場合は、次のとおり申請してください。

- ロゴマーク**  
本町と地域連携協定を締結している東京学芸大3年の小室和歌さんがデザインしました。

- 申請方法**  
使用承認申請書に必要事項を記載の上、総務課に持参するか、郵送により提出してください。申請書は、町ホームページからダウンロードできます。総務課でも配布しています。



- 申請先**  
〒969-3123  
福島県耶麻郡猪苗代町字城南100番地  
猪苗代町役場 総務課秘書広報係 宛

- 使用料**  
ロゴマーク等の使用料は、無料です。

- 問い合わせ先**  
総務課 秘書広報係 ☎(62)2111

- キャッチフレーズ** 「笑顔・つむぐ・未来」
- 事業名の表示** 「猪苗代町合併70周年記念」



# 「笑顔つむぐリレー」

町合併70周年のキャッチフレーズ「笑顔・つむぐ・未来」にちなんで、町民の皆さんの笑顔とともに、その人の知っている猪苗代町を紹介していきます。



安達 利一 さん (西久保・69歳)

Q猪苗代町のおすすめの(好きな)場所は？

天鏡台&昭和の森公園。  
景色を見るとほっとします。自分の小ささを感じ、悩みも吹き飛びます。

Q猪苗代町のおすすめの食べ物は？

地そば。  
そばを栽培していて、自分で打ったりもします。太くなったり細くなったりするのも、味があっていいものです。

Q猪苗代町での思い出の場所は？

猪苗代中学校。  
今年、古希を迎え、先日同級会をやりました。当時は中学校の屋上でバレーをしたり、中庭でかけっこをしたりして遊んでいました。勉強よりも友人と遊んでいる方が楽しく、今でもその時の友人たちと交流が続いています。

## 地域おこし協力隊通信



私たちが地域を元気に！  
地域おこし協力隊

松田 恭兵 さん

主な活動内容：移住・定住、空き家対策など

はじめまして。千葉県船橋市から移住してきました、地域おこし協力隊の松田です。  
妻の出身が隣の北塩原村で、子どもの転校をきっかけに家族で猪苗代町に移住しました。  
私のミッションは「移住・定住および空き家対策、スタートアップ企業・個人事業主の誘致に関する活動」です。町の人や関係機関と協力しながら、暮らしやすく魅力的な地域づくりに4月から取り組んでいます。  
もともとキャンプや登山、車中泊などのアウトドアが趣味で、猪苗代の自然は自分にとって理想的な環境です。これから四季折々の風景や町ならではの楽しみを、暮らしの中で少しずつ味わっていかれたらと思っています。  
湖畔や山の風景にふれながら、新しいお気に入りの場所も見つけていきたいです。  
今はまだ町のことを少しずつ知っていく段階ですが、日々新しい発見があり、楽しい毎日を感じています。  
これから町内の人たちとのつながりを大切に、やれることは何でもやっていきたいと思っています。見かけた際は、ぜひ気軽に声を掛けていただくと嬉しいです。

# 町合併 70 周年記念事業

## 町健康マラソン大会 特別種目「70を拾え」

町健康マラソン大会は6月22日、町運動公園で開かれ、町合併70周年記念事業の特別種目「70を拾え」を実施しました。

参加者は、一斉にスタートし、途中でくじが入っている封筒を拾いゴール。7人が豪華商品をゲットしました。住友生命保険相互会社 福島支社 郡山支部から、「インボディ測定」体験ブースの設置と特別種目参加者に飲料を提供していただきました。

1 参加者で記念撮影 2 子どもから大人までが参加した「70を拾え」 3 あたりくじを引いた幸運な参加者 4 インボディで体内の水分量や体脂肪などを測定中。好結果がでました



## 募集

# 町合併 70 周年記念事業

## やさしく学べるサイエンスセミナー -講演-「ゴリラから学んだ生きる力」

入場無料

ゴリラ研究の第一人者で人類学者・霊長類学者の山極壽一さんがゴリラを通して学んだことをわかりやすく講演します。

【日時】 7月30日(水) 13:30～15:00

【会場】 学びいな

【定員】 先着200人

※町内小学校、中学校、高校の児童・生徒の申し込みは、各学校で取りまとめています。

【講師】 山極 壽一(やまぎわ じゅいち)さん



屋久島で野生ニホンザル、アフリカ各地で野生ゴリラの社会生態学的研究に従事。京都大総長、日本霊長類学会長、国際霊長類学会長、日本学術会議会長などを歴任し、現在は総合地球環境学研究所長を務めています。

【申し込み方法】 はがき、ファックス、Eメール、QRコードからお申し込みください。①代表者氏名(ふりがな) ②年齢③郵便番号、住所④電話番号 ⑤参加人数⑥送迎バス(猪苗代駅 12:05発/12:55発)利用の人は「バス・発時刻」を明記し、「サイエンスセミナー係」まで。

●はがき  
〒960-8602 福島市太田町13-17  
福島民報社広告局企画推進部 宛

●ファックス 024(533)4343

●Eメール oubo@fukushima-minpo.co.jp

※件名に「サイエンスセミナー参加申込」と明記

【申し込み締切】 7月18日(金)必着  
※締め切り後、先着200人に受講案内(メールまたははがき)をお送りします。当日受付で提示してください。

事務局(福島民報社広告局企画推進部) ☎024(531)4161(平日10:00～17:00)

猪苗代町役場総務課 ☎(62)2111(平日8:30～17:15)